

エネルギー対策等の推進について

作成年月日	令和8年4月16日
作成部局名	企画部総合政策課

目次

I	エネルギー対策等の推進	
1	水素社会の実現に向けた取組の推進	03
2	海洋エネルギー資源開発の推進	08
3	発電所周辺地域の振興	09
II	総合的な水資源対策等の推進	
1	ひょうご水ビジョンの展開	10
2	水資源対策の推進	11



エネルギー対策等の推進

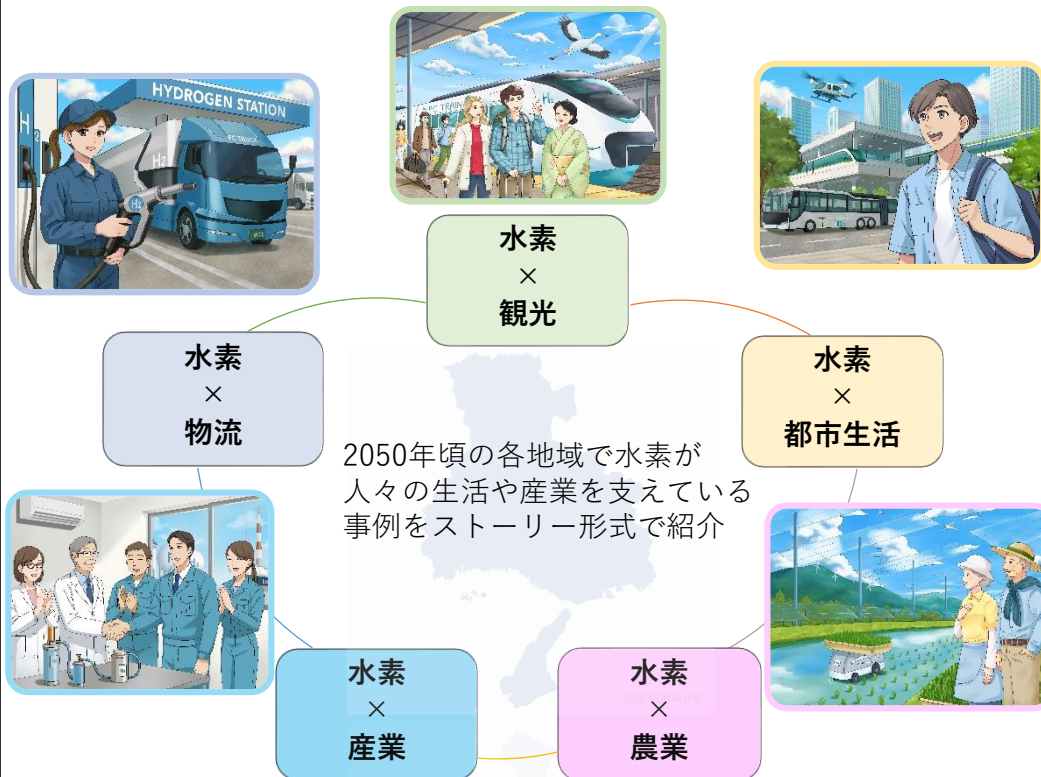
1 水素社会の実現に向けた取組の推進

「兵庫水素社会推進構想」のもと、2050年カーボンニュートラルへの貢献が期待される水素エネルギーの普及拡大を図る

(1) 「兵庫水素社会推進構想」（令和8年3月改定）の概要

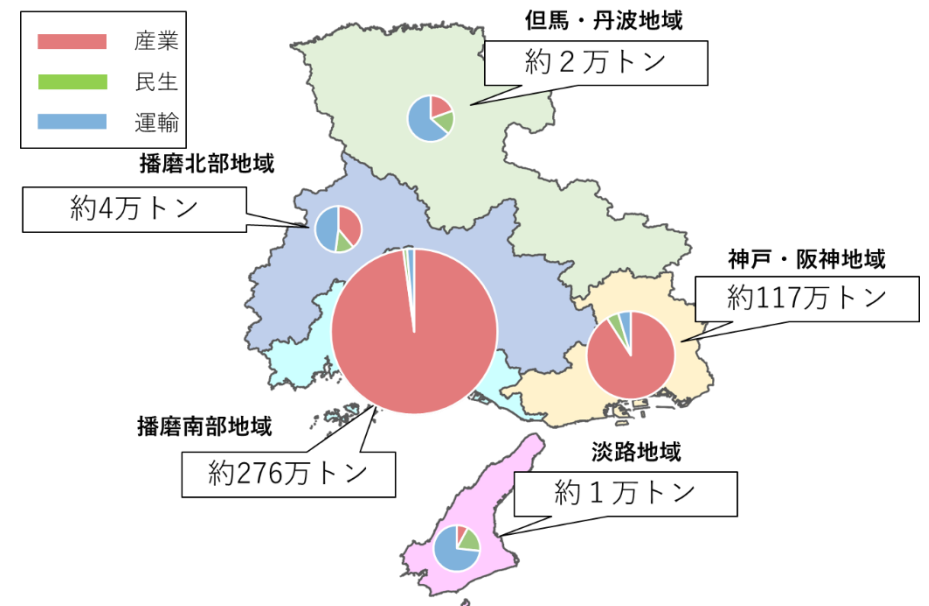
現在の技術開発状況を踏まえた2050年の水素社会の姿や水素需要量により、未来の解像度を高め、県民・産学官が連携を図りながら主体的に水素社会の実現に取り組む

2050年の水素社会の姿



2050年の水素需要量の推計

県全域で約400万トン/年と推計



(2) 産学官が連携した取組の推進

水素社会の実現に向けた機運醸成を図り、産学官が連携した取組を推進

① ひょうご水素社会推進会議の開催

産学官が参画するひょうご水素社会推進会議を開催し、需要ポテンシャルの高いエリアを中心とした水素の大規模利活用や供給体制の整備など先導的取組を推進

項目	内容
水素利活用の拡大	水素アプリケーションの導入促進や先導的エリアにおける利活用などを推進
水素サプライチェーンの構築	海外製造水素によるサプライチェーンの構築や再生可能エネルギー由来水素を活用した地産地消型サプライチェーンのモデル構築などを推進
水素関連産業の振興、人材育成	先導的な技術開発・市場開拓や中堅・中小企業の参入拡大、先導的な研究・人材育成などを推進
普及啓発・理解促進	水素社会の実現に向けた理解促進・機運醸成を促進

【推進体制イメージ】

【産学官連携組織】

ひょうご水素社会推進会議

【構成】 企業、学識者、国、県、市町等

【取組内容】 水素利活用の拡大、水素サプライチェーンの構築、機運醸成等

【庁内組織】

ひょうご水素・脱炭素社会推進本部

【構成】 本部長：知事、
副本部長：副知事
本部員：各部長等

【取組内容】 施策の企画・調整、共有

【産学官連携組織】

兵庫県水素ステーション整備促進協議会

【構成】 企業、研究機関、国、県、市町等

【取組内容】 水素ステーションの整備、運営支援
水素利用の普及促進等

【産学官連携組織】

播磨臨海地域CNP推進協議会

【構成】 企業、学識者、国、兵庫県、市、経済団体等

【取組内容】 播磨臨海地域の脱炭素化

【自治体連携組織】

水素社会実装をめざす兵庫県自治体連絡協議会

【構成】 兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、洲本市、
加古川市、高砂市、南あわじ市、淡路市、猪名川町、
播磨町 ※ 今後、適宜追加

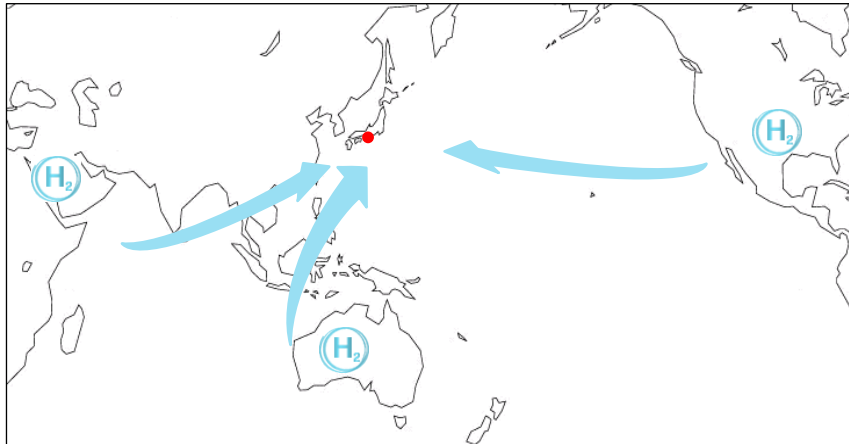
【取組内容】 水素利活用の連絡調整、国への要望、機運醸成等

(3) 播磨臨海地域での水素等サプライチェーンの形成

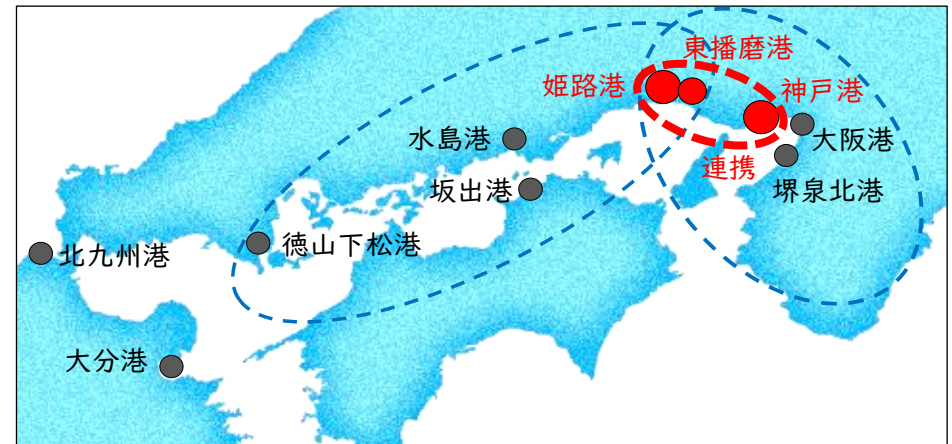
港湾脱炭素化推進計画（CNP計画）のもと、姫路港を中心とする播磨臨海地域で水素利活用の拡大や海外からの水素等を含めた水素等サプライチェーン拠点の形成を推進

- ① ひょうご水素社会推進会議での具体的な課題の抽出や取組の検討
- ② 播磨臨海地域での港湾脱炭素化推進計画（CNP計画）の推進（土木部） 等

【海外製造水素等の受入イメージ】



【瀬戸内・関西との連携イメージ】



<参考> 国際的な水素サプライチェーンの構築に向けた取組（西豪州との連携）

- 令和5年、両県州は水素等「脱炭素エネルギーの推進等にかかる共同声明」や「カーボンニュートラルポート形成に向けた姫路港とピルバラ港の連携協力に関する覚書」を締結
- 令和7年、西オーストラリア州政府首相が兵庫県知事を表敬訪問。両県州が水素など新エネルギーや産業分野で連携強化を図る方針などを確認
- 民間でも、令和7年に関西電力、日本水素エネルギー、豪ウッドサイドエナジーが液化水素サプライチェーンの構築を目指し、覚書を締結



西オーストラリア州政府首相の
知事表敬（R7.9）

(4) 水素関連産業の振興（産業労働部所管）

企業が行う水素関連の設備投資や新製品の試作開発、海外展開を支援し、水素関連産業の参入を促進

(5) 水素モビリティの普及（環境部所管）

国の「燃料電池商用車導入に関する重点地域」※への選定（R7年5月）を踏まえ、大規模水素ステーションの整備や燃料電池商用車の導入を支援する等、水素モビリティの普及を促進

※ 福島、東京・神奈川、愛知、兵庫、福岡の5地域が選定。水素ステーションに対して国の補助上限額の引き上げや補助メニュー拡充等



関西初導入となる小型FCトラックの出発式（R8.1 兵庫県庁）

<参考> 水素海外展開チャレンジ事業（2025年度実績）

対象：水素関連製品の海外事業展開に取り組む県内企業

採択件数：8社採択

支援内容：

- ・コーディネーターによる伴走支援
- ・展示会出展・視察に係る経費支援

実施内容：

- ・マーケティング研修
 - 水素の世界動向理解
 - 英語プレゼン など
- ・国内/海外展示会出展支援
- ・日・欧間人材交流



日・欧人材交流会

(6) 普及啓発の推進

水素社会の実現に向け、水素の役割や将来の展望などを県民・事業者にわかりやすく発信。将来を担う小中高生等への啓発を強化し、水素社会や水素産業への興味・関心を高める

- ① 水素を活用する意義や安全性、将来性、先端技術の開発状況等を発信
- ② シンポジウムやワークショップの開催
- ③ 県内イベントへの水素実験教室の出展
- ④ 若者世代に向けた動画配信や電子リーフレットの配布



専門学校生を対象としたワークショップ
(R8.2 神戸市)



水素実験教室・パネル展示
(R7.10 かこがわecoフェスタ)



若者向け啓発動画



小学校高学年向け啓発動画



小学校高学年向けリーフレット

2 海洋エネルギー資源開発の推進

国産のエネルギー資源として期待の高い「表層型メタンハイドレート」の開発を促進するため、国への働きかけや県民への広報活動を実施

(1) 「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」の取組

日本海側の12府県で構成する「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」において、国に対して商業化に向けた研究開発の着実な実施を働きかけ

- ① 国への要望（R7年5月、内閣官房長官、経済産業省）
 - ・令和7年度予算（調査費等）の確保、研究開発の着実な実施
- ② 「日本海海洋資源フォーラム」の開催（R8年1月、石川県）

(2) 県民への広報活動

メタンハイドレートに対する県民の理解促進に向けた啓発（R7年10月）

- ① 専門家によるメタンハイドレートの燃焼実験や開発状況の紹介等



内閣官房長官への要望(R7.5)



メタンハイドレート燃焼実験
(R7.10 環境フェスティバル（豊岡市）)

<参考> メタンハイドレート開発に向けた国の取組

これまで国の研究開発は、太平洋側に多く存在する「砂層型メタンハイドレート」を中心に行われてきたが、日本海側で存在が確認された「表層型メタンハイドレート」についても、平成25年度から資源量や回収技術に係る調査研究が進んでいる

【スケジュール】

年度	内容
H25～H27	・広域地質調査、地質サンプル採取
H28～R1	・採掘・分離・揚収に関する有望技術を特定
R2～R9頃	・特定した有望技術による生産システムの研究開発、海洋調査の実施
R10～	・海洋産出試験の実施
R12まで	・民間企業が主導する商業化開始

3 水力発電所周辺地域の振興

電源三法（電源開発促進税法、特別会計に関する法律、発電用施設周辺地域整備法）に基づき、国の電源立地地域対策交付金を財源とした水力発電施設周辺地域の公共用施設整備などの住民の利便性向上や地域の活性化を図るための事業について支援を実施

(1) 水力発電施設周辺地域交付金

水力発電所が立地している6市町に対し、道路、地域防災拠点等のインフラ整備やソフト施策実施のための補助金を交付し、発電所周辺地域の振興を図る



あさご芸術の森美術館事業
浮世絵展の開催(朝来市)



道路維持作業車整備事業
道路維持作業車の購入(香美町)

対象市町	対象発電所	主な事業（R7年度実績）
神河町	大河内、市川、南小田第一、南小田第二	町道大河発電所線舗装新設事業 等
宍粟市	原、野尻、草木、上野、安積、神野	市道横住線路面修繕事業
豊岡市	阿瀬、石井、岩中	市道道場浅倉線路面補修事業
養父市	横行	市道横行線舗装修繕事業
朝来市	奥多々良木	あさご芸術の森美術館事業 等
香美町	矢田川	道路維持作業車整備事業

※交付対象：市町内水力発電所の評価出力が合計1,000kW以上、かつ基準発電電力量の合計が500kWh以上のもの

交付期間：運転開始後15年経過、以降最大50年間

II 総合的な水資源対策等の推進

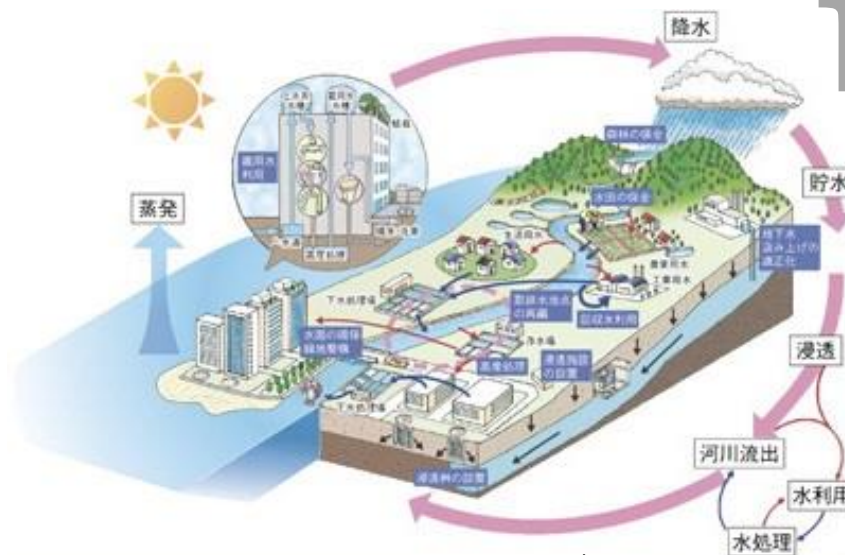
1 ひょうご水ビジョンの展開

平成27年度に改定した「ひょうご水ビジョン」のもと、水と共生する県民生活の構築を目指す

(1) 水ビジョンの概要

2030年度（目標年次）のめざすべき姿：

「水、さと、まちの共生 ～水を知り、水を活かし、水に備える～」



水循環のイメージ

基本方針	取組内容
① おいしい水をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 森林等の適正管理と保全による水源かん養 安定した水道供給の確保、 兵庫のおいしい「食」生活の推進
② 水をもっと上手に使う	<ul style="list-style-type: none"> 雨水、再生水、井水の利用推進 節水生活の普及、 水のエネルギー利用の推進
③ 水へのおそれ（畏れ、恐れ）を知り備える	<ul style="list-style-type: none"> 流域全体で取り組む治水対策等の推進 防災教育と情報提供の推進、 渇水への備えの強化
④ 水の豊かさを守る、つくる	<ul style="list-style-type: none"> 水辺環境の保全と創造 生態系の保全と回復 水循環全体の周知
⑤ 水の文化、伝統を育む	<ul style="list-style-type: none"> 水文化の継承・創造 伝統産業の振興 水がつなぐ交流の推進

みんなの水だから、みんなで節水

節水にご協力を！

近畿地方では、平年よりも約3週間早い梅雨明けとなりました。県内では、降雨が少ない状態が続いていることで、貯水率が低下したダムなどで取水制限が実施されています。今後もまとまった降雨がなければ、貯水率がさらに低下し、取水制限が拡大することとなります。

- ・蛇口はこまめに止めましょう！
- ・トイレは2度流しせず、流す量も少なくしましょう！
- ・野菜や食器は、水をためて洗いましょう！
- ・洗濯物は、まとめて一度に洗いましょう！
- ・風呂の残り湯は、洗濯や散水に使いましょう！

節水ポスター（兵庫県）

(2) 県民意識の醸成

項目	内容	R7年度実績
中学生「水の作文」コンクール	水に対する関心や理解を得るため、国土交通省と共催で次代を担う中学生を対象に作文コンクールを実施	応募総数157編（最優秀賞1、優秀賞3、入選16）
水の日（8月1日）広報イベント	① パネル展示や水の試飲等を通じて水の貴重さや大切さをPR ② 県内主要施設のブルーライトアップ（水をイメージ）	① R7年8月 尼崎市 ② 神戸市等6市町10施設



水の大切さ、美味しさの啓発
(R7.8 ひょうご楽市楽座)



モザイク大観覧車の水の日ブルーライトアップ
(R7.8 神戸市)

2 水資源対策の推進

(1) 広域的な水資源調整

安定した水資源の確保や良質な水源の保全など、琵琶湖・淀川水系の広域的な水資源調整を実施

(2) 渇水対策

渇水により県民生活等に重大な被害が発生する恐れがある場合には「兵庫県渇水対策本部」を設置するなど、広域的な調整を実施



大日ダムの渇水状況
(R7.12 南あわじ市)